

北海道教育委員会教育長 様

北海道倶知安高等学校長 佐々木 真一

次の通り、令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(学校教育目標) ふるさとを思い、多様の中で、力を合わせ、自ら進んでつくり出す生徒を育てる (スクールミッション)	
1	生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
2	キャリア教育を通し、自己のキャリア形成により、自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択する生徒の育成
3	地域の学校として、地域の教育活動を活用した教育活動等を通して、豊かな心と社会性を備えた地域から信頼される生徒及び将来地域を担う人材の育成 (育成する資質・能力)
1	自ら困難な課題に果敢に挑戦し、グローバル社会を生き抜くための課題発見力や課題解決力を身に付けた生徒の育成を図る。
2	多文化社会の中で他者や自然を尊重する心を持ち、地域やふるさとを愛し、グローバルな視点から自律性や協働性を持って行動する生徒の育成を図る。
3	夢や目標を持ち、その実現に向けて主体的に取り組む生徒の育成を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果と今後の改善方針

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価
学校教育目標	学校教育目標と具体的な教育活動の結びつきは強いと考えられている。経年変化においても安定した数値を維持している。ただし、より良い教育実践を行う必要がある。	A：十分できている (4点) B：おおむねできている (3点) C：あまりできていない (2点) D：できていない (1点) 平均 3.5
改善方針	総合的な探究の時間が学校教育目標を最も具体化した教育活動といえる。地学協働をより推進し、生徒に伴走する教育活動を実践したい。	
学習指導	生徒の家庭学習の習慣が身につけておらず、主体的な学びは不十分である。単位制の教育課程やICTを活用した授業は評価が高い。	A：十分できている (4点) B：おおむねできている (3点) C：あまりできていない (2点) D：できていない (1点) 平均 3.3
改善方針	授業において、ICTの活用等により、個別最適な学びと協働的な学びを実践することにより、主体的な学びを育成したい。	
生徒指導	規範意識については、生徒の評価に比べて教職員・保護者の評価が低い。部活動や生徒会活動への積極的な取組は全体的に高く評価されている。	A：十分できている (4点) B：おおむねできている (3点) C：あまりできていない (2点) D：できていない (1点) 平均 3.1
改善方針	規範意識については、実社会とリンクしたルール作りが必要である。部活動や生徒会活動(行事)における自主自立の取組をしっかりと評価して、自己有用感のさらなる向上を目指したい。	
進路指導	進路実現のため3年間を見通した学校生活については実践できていないと評価している。進路選択の情報享受や自身で進路選択すべき行動の必要性は感じている。	A：十分できている (4点) B：おおむねできている (3点) C：あまりできていない (2点) D：できていない (1点) 平均 3.3
改善方針	与えられた進路情報や自己決定の必要性を3年間継続したものにするため、キャリア教育を入学時から実践し、同時に3年間の進路活動の見通しとゴールを明確化させていきたい。	
健康安全	健康状態の把握や病気怪我の予防の意識は高い。しかし、災害発生時の自らの行動や、美化活動を推進する面は評価が低い。	A：十分できている (4点) B：おおむねできている (3点) C：あまりできていない (2点) D：できていない (1点) 平均 3.3
改善方針	例年行われる避難訓練や防災教室など、実践的な機会において自分事として取り組ませる必要がある。平常時から、訓練をしておく理由を考えさせる機会を作っていきたい。	
学校運営	学校の広報活動はHPをはじめ高い評価を受けている。学校の施設設備については、冷暖房や体育館のワックスへの不満が多い。業務改善や働き方改革の取組も経年変化で右下がりである。	A：十分できている (4点) B：おおむねできている (3点) C：あまりできていない (2点) D：できていない (1点) 平均 2.9
改善方針	HPの更新や学校だより等の充実を継続していきたい。体育館のワックスは改善できたが、冷暖房は今後の改善としたい。教職員の業務過多については、管理職主導で改善していきたい。	
公表方法	学校評議員会、PTAだより、学校ホームページ等で公表する。	

3 添付資料 自己評価アンケート(教職員・保護者・生徒)の集計結果